

夕方、外灯が点く頃、夜風が少し吹いていて

明るい光の方へはしらせる自転車の男性。

足元はまだ暗いけれど、光の方へ高く向かう様な

そんな気持ちでいたのかな…と

父は自分の作品をどのように感じてもらうかは自由、

その人の感じ方で自分の作品を解釈したり

見てもらって欲しいと言っていた事を思い出しました。

この作品の意味や時期はわかりませんが

その時に少し聞いておけば良かったなと思いました。

これは私の主人の絵ですが、当時本人は  
いくばくかの不安があったのではないかと思います。  
いつも色がいいなと思っていましたが  
この時は思い悩むことがあったのではないかと想像しました。